

あなたの身近な相談相手

民生委員・児童委員

伊奈庁舎社会福祉課（内線 4111）

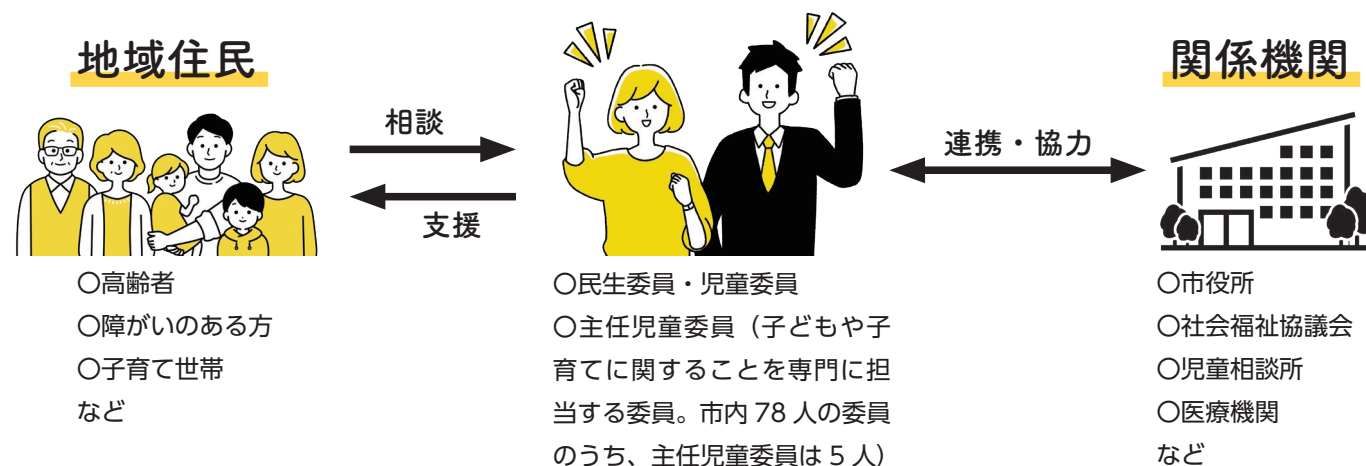
毎年5月12日は「民生委員・児童委員の日」。皆さんは、民生委員・児童委員をご存じですか？

少子化や核家族化によって地域のつながりが薄くなっている昨今、悩みを抱えている方が周囲に相談できず、孤立してしまうケースも少なくありません。民生委員・児童委員は、そんな悩みを抱えている方の相談に乗り、関係機関につなぐことで悩みの解決を支援します。市内では、78人の委員がそれぞれの担当地域で活動しています。

今月号の特集では、身近にいるのに意外と知られていない、民生委員・児童委員を紹介します。

民生委員・児童委員は、地域の方を定期的に訪問し、日常生活での悩みごとの相談を受けています。

民生委員・児童委員は、あなたと支援をつなぐ「つなぎ役」です。



気になるアレコレにお答えします。

相談できる内容は？

生活・健康や福祉サービス、子育てや介護のことなど、幅広い相談に応じています。お気軽にご相談ください。



【生活・健康のこと】

- ひとり暮らしで寂しい
- 高齢者2人で住んでいるので、何かあったら不安

【福祉サービスのこと】

- 障がい者にはどんなサービスがあるのか知りたい
- 高齢者向けのサービスを利用したい

【子育てのこと】

- 子育てのことで相談できる人がいない
- 子育てが上手くいかず不安

【介護のこと】

- 介護ばかりで自分の時間がない
- 介護保険の使い方が分からない

秘密は守られる？

民生委員法による守秘義務があるため、相談内容や秘密がほかに漏れることはありません。安心してご相談ください。



誰に相談すればいい？

お住まいの地区を担当している民生委員・児童委員にご相談ください。各地区の担当者について、詳しくは社会福祉課に問い合わせるか、市ホームページをご覧ください。



ふじひら ひろみ
藤平 裕美さん（写真左）

つくばみらい市民生委員児童委員協議会の副会長を務める。担当は小張地区（高波住宅・出山住宅・小島新田東）。

もともとヘルパーとして働いていた経験から、人のお世話をすることが好きでした。そのため、退職後に地域のために自分にできることがあれば貢献したいと思い、民生委員・児童委員になりました。

最初は手探り状態で、自分に務まるか心配でしたが、今年でかれこれ5期目（15年目）になります。

地域の皆さんを定期的に訪問して、日常生活での悩みごとの相談を受けることが主な活動です。定期的に訪問することは安否確認にもつながっているの、地域の見守り役としての役割も果たしています。

地域の皆さんから「ありがとう、助かったよ！」と言われると、民生委員・児童委員を続けてきて良かったと感じます。また、普段の生活の中で、訪問した地域の皆さんに助けってもらうこともしばしばあります。「一方的に助ける」のではなく、「助け合う」関係が築けることも、やりがいにつながっていますね。

これからも地域の皆さんと交流を深めて、悩みごとがあれば支援につなげる「つなぎ役」として頑張りたいです。

民生委員・児童委員についてお話を伺いました。

民生委員・児童委員は、地域の方を定期的に訪問し、日常生活での悩みごとの相談を受けています。

この日は、小張地区を担当する藤平さんが、近所に住む保坂さんのご自宅へ何う定期訪問日。

そこで、藤平さんと保坂さんのお二人に民生委員・児童委員についてお話を伺いました。



ほさか みちこ
保坂 道子さん（写真右）

藤平さんのご近所さんで、藤平さんが民生委員・児童委員になる前からの付き合い。

月に数回、藤平さんが自宅に来てくれて、世間話からお悩み相談まで色々な話を聞いてくれています。人にはなかなか相談しづらいことも相談できますし、近所に民生委員・児童委員の方がいると安心です。

何より、人と話すとそれだけで元気を貰えるので、定期的に話を聞いてくれるのは嬉しいですね。

＼ご協力ありがとうございました！／

